

# TERAO NEWS



## 令和3年度 新入職員入社式

4月1日(木)寺尾病院大会議室にて、令和3年度新入職員入社式を執り行いました。式には新入職員5名と理事長 寺尾敏子をはじめとする各所属長が出席しました。  
入社式では皆緊張した面持ちでしたが、日を追うごとに打ち解けた様子で笑顔が見えます。



入社後は新人研修を実施し、病院の概要や各部署の業務内容についての事、社会人としての心構え、必要なマナー研修等、2日間に渡り盛りだくさんな内容で行われました。  
新型コロナウイルス感染症の影響で大変な状況ではありますが、今後とも地域の皆様に「安心・安全・納得」の医療を提供できるよう、職員一丸となって努力してまいります。  
まだまだ未熟で不慣れな点もあり、皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、これから地域に貢献できる医療人に成長してくれることと期待しています。



### 寺尾レポート

	R3.3	R3.4	R3.5
1日平均外来数	126	126	150
新規入院	75	52	52
退院	64	72	63
通所リハ利用者数	1113	1077	964

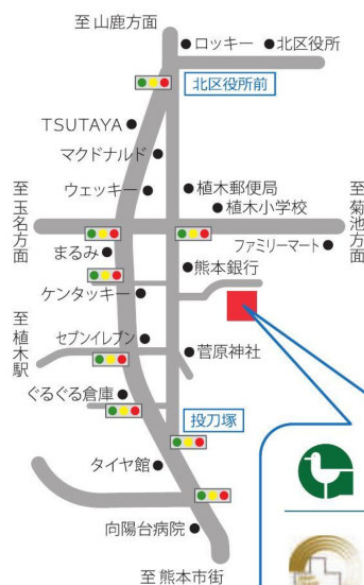
(単位:人)

○回復期リハビリテーション病棟  
在宅復帰率:89.4% 平均単位数:5.7単位  
入院時の重症割合:35.4% 平均在院日数:49.0日  
重症改善割合:54.5%  
実績指数:48.03

○地域包括ケア病棟  
在宅復帰率:82.3%  
平均在院日数:26.1日



### 交通アクセス



- ▶九州産交バス/熊本~山鹿線  
植木1丁目バス停より…徒歩約1分
- ▶JR九州/JR鹿児島本線  
植木駅下車…タクシーで約8分
- ▶自家用車/九州自動車道  
植木インターより…車で約10分  
水道町交差点より…車で約30分

医療法人 寺尾会 寺尾病院

〒861-5504 熊本市北区小糸山町759  
TEL:096-272-0601 / FAX:096-273-2759  
URL <http://www.terao.or.jp/>

診療部長 城 誠也

# 新型コロナウイルスワクチン接種始まる

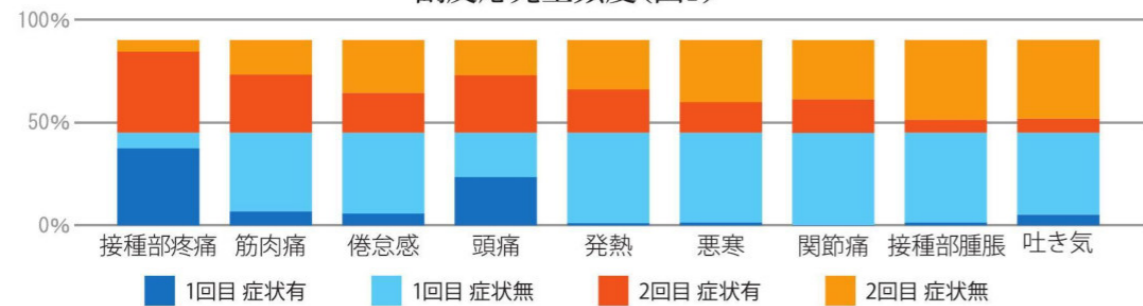
## ワクチン接種の現状と今後



諸外国に遅れること約半年、ようやく国主導での医療従事者への新型コロナウイルスワクチン接種が開始されました。寺尾病院では2021年4月7日から9日および3週間後の4月28日から30日の3日間(一人2回接種)で当病院医療従事者183名(妊婦・重度アレルギー既往者・非希望者等18名を除く)接種を完了しました。ワクチンは米国ファイザー社のmRNAワクチン「コミナティ筋注」で、接種体制は一般外来診療との重複を避け午後2時から4時までの2時間で10名/15分の接種割り当てとし、接種後30分の経過観察(接種場会議室)を行う体制をとりました。局所疼痛や発熱、倦怠感などの許容内の副反応(図1参照)は認められたもののアナフィラキシー対応や救急処置に至る発生はなく無事終了しました。当院職員接種完了後、近隣医療従事者は4月28日から5月10日および3週間後の5月19日から31日の午前10時から2時間の2時間で30名、午後3時から1時間半で18名の隔日接種を外来フロアで接種施行(院内感染持ち込み予防にて)しました。当病院法人関連の訪問診療者(職員・患者含め)は5月19日より訪問診療日に訪問診療医と看護師・事務員チームで数名から54名/日の予定で3週間空け2回接種できる体制での人員配置で接種計画予定しています。熊本ではさらに5月17日以降80歳以上の高齢者の接種を分散予約制にて各医療機関で実情に応じ数名から60名/日の接種を委託される状況(今後自治体行政からの変更要請等で不確定)のため、当院の状況に合わせて接種計画を検討している状況です。新型コロナウイルス感染症はワクチン供給の不安定さや予約体制の二元化(国や自治体と診療機関での調整不足、現場丸投げ?)にて混乱しているところが実情ではないでしょうか。世界に目を向けると、摂取率が高いイスラエル(人口比で63%)、イギリス

(52%)、アメリカ(46%)で、すでに12歳から15歳接種も開始されている状況に対し、日本では16歳以上でわずかに3%(2021.5月初旬時点)に留まっています。  
「コミナティ」の効果は研究所や論文、治験の報告では2回接種後2週間後の感染抑制は感染予防効果で94%、発症抑制効果は95%と高く、有効性は90%以上の好成績です(ちなみにインフルエンザワクチンの有効性50~60%)。また、この効果は日本でも置き換わりが90%以上となったウイルス変異株のN501YやE484K(E484Q)でも有効とされ、少なくとも5~6ヶ月は持続効果があるとされています。集団免疫確立には人口比で少なくとも50~60%以上が既接種者になる必要があるとされ、パンデミック禍での全世代型変異株の変異スピードや決め手となる治療薬がない現状では、一刻も早いワクチン接種実施が最優先事項であり、合わせてマスク着用や消毒、3密の回避といった標準感染予防の徹底を継続するしかないでしょう。第4波と言われる変異株主体の流行が、今後さらに強感染力(従来比の1.3~1.7倍)、免疫を逃れ重篤化するとされるインド株(L452RやE484Q)に置き換わる前にワクチン接種を実施する必要があります。COVID-19が第2類指定感染症扱いにて報告・届け出義務や対処方針指導が保健所管轄でPCR検査を含め多大の混乱を来している中で、国はワクチン確保や効率的なワクチン接種に向け自治体や医師会と連携重視すべきでしょう。われわれ医療機関は国民のために「突貫工事」的スキームに乗った対応ではなく、エビデンスと計画に基づいた確実性と安全性を包括したワクチン接種業務に微力ながら貢献できればと考えます。

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応発生頻度(図1)



- ① 接種者数183名、副反応調査回収165名で回収率90.1%
- ② 1回目より2回目接種後の副反応発生率が高値であった
- ③ 接種後2日目が副反応の発症頻度高値であった
- ④ 発熱にて1日の休職者は3名いたが、重篤な反応での管理者はいなかった

看護部長 内田 良子

# NPPV 人工呼吸療法開始のお知らせ



## 新たにNPPVを導入し当院でも検査・治療が可能に

令和3年5月よりNPPV(非侵襲的陽圧換気)使用の患者さまの受け入れができるようになりました。PHILIPS V60ベンチレーターを使用いたします。

## 患者さまに負担の少ない治療を提供

当院では、呼吸器医師3名が在籍しています。そのため、昨年度よりNPPVの導入に取り組み始めました。熊本中央病院での研修を実施し、研修受講者よりスタッフへの勉強会を行いました。そこで、まず「スタッフの理解を得ること、機器の使用ができること、看護ケアの習得」など目標を掲げ、勉強会に取り入れしました。患者さまのNPPV使用による不快感や病状への不安、皮膚トラブルなど無いように安心して治療を受けていただけるようにサポートいたします。

## 寺尾病院 看護部の役割

NPPVは患者さまの理解と協力がなくては実施できません。NPPV導入患者さまがアドヒアランス(治療や服薬に対し、患者さまが積極的に関わり、その決定に沿った治療を受けること)を維持できるように、患者さまを励まし、不安に寄り添い、NPPVの効果を自覚できるように促す事も看護師の役割と考えます。

